

「海上清掃事業」

清掃船により港内に浮遊する塵芥、漂流物その他の収集処分等を行いました。

1. 作業区域 横浜港港湾区域

2. 作業体制

(1) 清掃船 横浜市港湾局より使用貸借している船舶3隻（青海丸・清浦丸・蒼海丸）

浅狭水域用傭船2隻（清港丸・清栄丸）

3. 作業内容

(1) 横浜港港湾区域内の海面に浮遊する塵芥、漂流物等を回収し、陸揚げ処分を行いました。

(2) 美観重点水域と定めているみなとみらい21地区周辺から山下公園前までの水域は、荒天等作業不能な日を除き、日曜・祝日等の休日も、海面清掃作業を行いました。

(3) 回収した塵芥は、水切りの後、可燃物は横浜市焼却工場に搬入し、不燃物等は産業廃棄物処分業者に委託するなど適正に処分しました。

(4) 海上保安部等から塵芥回収依頼を受けた時は、迅速な対応を心掛け実施しました。

4. 回収ごみの種類

流木、枯草木、発泡スチロール、プラスチック製品、ビニール袋、タイヤ等。

5. 作業実績

(1) 直営等清掃船（5隻）によるもの 別表1参照

(2) 国土交通省関東地方整備局清掃船「べいくりん」の回収物の陸揚げ作業
処理回数2回（前年度1回） 陸揚数量5.57W/T（前年度1.74W/T）

6. 流出油回収訓練

油流出事故に迅速かつ適切に対応できるよう、横浜市港湾局指導のもと、回収装置を清掃船へ搭載する訓練を実施しました。（令和5年11月20日、21日）

「陸上清掃事業」

各ふ頭構内の塵芥収集、分別作業等を行いました。

1. 作業区域 大黒ふ頭、出田町ふ頭、瑞穂ふ頭、山内ふ頭、新港ふ頭、
大さん橋ふ頭、本牧ふ頭の構内

2. 作業体制

- (1) 委託作業 塵芥収集運搬作業
- (2) 直営作業 再資源化、減量化を図るための塵芥仕分け作業等
- (3) ごみコンテナの配置状況及び保有車両等

ア ごみコンテナ（容量0.7 m³/個）

大黒ふ頭他 80個（公共区域66個、専用区域14個）
本牧ふ頭 241個（公共区域137個、専用区域104個）
保 管 スチール製ごみコンテナ 9個
プラスチック製ごみコンテナ 11個

イ 車 両 等

- ・ 巡回車両（軽自動車） 1台
- ・ アームロールコンテナ 4台

3. 作業内容

ふ頭構内に配置しているごみコンテナに投入された廃棄物の収集処分を行いました。
処分に当たっては分別を行い、再資源化と減量化に努め適正に処分しました。

4. 作業実績 別表2参照

「ギャベジ収集事業」

- 1. 作業委託会社と各船社の協力を得てギャベジ収集を実施しました。令和5年3月頃から各外航客船の運行が順次再開され、令和5年度実績はコロナ禍以前の水準を上回りました。

ギャベジ収集実績

収集隻数 111隻（前年度 32隻）
収 集 量 750,970kg（前年度 99,890kg）

「その他」

1. 啓発宣伝活動等

海面清掃等に従事する清掃船に、常時「みんなで港を美しく」と染めたのぼり旗を掲げ啓発宣伝活動を行っています。横浜港で開催される催しには積極的に参加し、横浜港の海域環境の保全と航行安全の保持をアピールしています。

令和5年度に行った主な活動等は次の通りです。

- (1) 独立行政法人国際協力機構（JICA）横浜センターの研修において「海洋ゴミ対策のための廃棄物管理」というテーマで講義（令和5年6月2日）
- (2) 東京湾クリーンアップ大作戦啓発用ポスターを関係団体に配布（令和5年7月）
- (3) 海洋都市横浜うみ博2023にて清掃船「蒼海丸」の展示と清掃活動紹介（令和5年8月6日）
- (4) 山下公園で開催された「海底清掃大作戦」に参加（令和5年10月22日）

※例年行われる下記の催し等は中止となりました。

- ・横浜開港祭 官公庁艇パレード（令和5年6月2日）※荒天のため

2. ホームページの活用

ホームページにて、当会の事業内容や清掃活動等の情報公開をしています。「新着情報」にイベント参加の様子等を随時更新しています。写真や動画を使って、事業内容や清掃活動をより分かりやすく説明しています。

(URL : <http://www.yh-seikokai.or.jp>)

3. 寄附受納

関東砒産株式会社より作業用手袋の寄贈を受けました。（令和5年8月17日）

「会議」

1. 総 会 令和5年6月26日（月）
2. 理 事 会 令和5年6月12日（月）、令和5年6月26日（月）
令和6年2月20日（火）
3. 監 査 令和5年5月24日（水）